

環境省中国環境パートナーシップオフィス

# EPOちゅうごく news letter

Vol.1  
創刊号  
2011.OCT

新たな目標に向けて—

確実な取り組みとネットワーク構築



平成 23 年度より運営団体はひろしま NPO センターへ

## 新しい運営体制がスタートしました





EPOちゅうごく運営検討委員会委員長  
広島大学大学院国際協力研究科  
教授 中越 信和

就任にあたって

この度、「EPOちゅうごく」において大変重要な役割をお引き受けすることになりました。本組織の今期の運営は、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターによって行われることになりました。同NPOセンターは大変意欲的なプログラムを提示され、環境省からこの運営を委託されたようです。

以前は、広島市内のビルにあるアンテナ空間の管理とそこを利用した環境関連の情報発信が主な仕事だったようですが、今期からは積極的に中国地方各地に出て、環境関連の普及・啓発活動を行うことになっています。どれくらいの実績を上げることができるかは未知数ですが、計画したからにはその目標の達成に努力してゆきたいと考えています。そのためには、多くの関係者や今回から活動に協働していただける方たちからの支援が不可欠です。よろしくご支援ください。

私は、現在日本生態学会中国四国地区会長をしており、割と頻繁に各県庁所在地にある有力大学に出かけています。交通手段でみると広島市からは岡山市が最も近い県庁所在地で、山口市、松江市、鳥取市と順に遠くなります。松江市と鳥取市には、東京に行くより時間がかかります。これは、逆に鳥取市、松江市、山口市、岡山市から順に広島来られるのに時間がかかることを意味しています。また、各地の文化の土壌も異なっており、中国地方を構成する5県それぞれに個性があることを示していることとなります。

しかも、環境に関して検討すると、各県はそれぞれ異なる環境問題を抱えています。その意味では、広島での解決策が鳥取で適用できるとは限らないとも言えます。同じように岡山での解決策は他の4県で受け入れられないかもしれません。

もちろん、エネルギー節約をはじめとした「低炭素社会の構築」、廃棄物の分別やリサイクルの促進など「循環型社会の構築」など共通して取り組まなければならないこともあります。したがって、共通する環境問題への取り組みを強化すること、各県固有の環境問題の解決への支援、他県で開発されてその県で適用できそうなことの紹介や情報交換などを本組織の使命としてはいかがでしょうか。

もともと限られた人材と予算で運営されているEPOちゅうごくでは、実現できることに限界があるのも事実ですが、それを超えて環境問題に取り組むためには全ての主体の協働が欠かせません。

一緒に行動しましょう。

副委員長



公益財団法人しまね自然と環境財団  
島根県地球温暖化防止活動推進センター  
環境事業課長 葭矢(よしや)崇司

■こんな環境活動をしています  
島根県の中部、三瓶山をフィールドとした自然観察など、野生生物の保護、自然環境の保全をテーマとした普及啓発活動をしています。どちらかといえば専門的でお勉強な内容より、フィールドを活かした野遊びなどが得意です。

■EPOに期待すること  
人と人、組織と組織をつなぐことが到達点でなく、つないだ後どうするか？  
パートナーシップを創出することがだけでなく、異なる立場にたち、異なるスキルを持つ人々を上手に動かして、問題解決にあたって有効な仲立ちができる組織となつてほしい。



やまぐち県民活動支援センター  
センター長 伊藤 彰

■こんな環境活動をしています  
山口県のNPO支援機関である「やまぐち県民活動支援センター」の伊藤と申します。環境保全等のプロパーではありませんが、代表をさせてもらっている社会教育団体で環境保護に関するゼミや研究会を運営したり、県主催のエコ促進イベントの実行委員をさせてもらったりしています。

■EPOに期待すること  
環境問題に関わるパートナーの輪がひろがり、人と情報とスキルがつながる拠点として、EPOちゅうごくが機能することを期待しています。



財団法人広島県環境保健協会・  
脱温暖化センターひろしま  
センター長 上田 康二

■運営検討委員就任にあたって  
私も、広島県内で環境と健康に係るコミュニティ支援事業を展開しており、コミュニティ活動の活性化と拡大に取り組んでいます。そして、EPOちゅうごくは活動拡大や先進事例提供などで強力なパートナーになりうる存在だと思っています。  
また、EPOちゅうごくが、情報集積と発信、活用場として、さらには広域的な取組みの起点として、より存在感を増していくことを期待しています。

■EPOに期待すること  
新体制が始動し、多彩な事業計画の実現に向け、スタッフの皆様は東奔西走され、ご苦労の絶えない日々が続いていると思います。しかし、事業を進めていくなかで、ひろしまNPOセンターが培ったネットワークが活かされ、広がり、協働を通じて相互理解と信頼関係が強化されていくことと信じています。ともに頑張りましょう。



NPO法人ひろしま自然学校  
代表理事 志賀 誠治

■こんな環境活動をしています  
北広島町にある約10ヘクタールの里山と小学校の廃校を拠点に自然学校を運営しています。「森を育む(森林整備)」「森で遊ぶ(自然学習・環境学習)」「人を育む(指導者育成)」を3本柱に据えて年間1500人くらいの方を自然学校に招いて活動を展開しています。  
また、ESD(持続可能な開発のための教育の10年)やエコリズムなどにも取り組んでいます。

■EPOに期待すること  
中国地方の拠点(中間支援組織)として、エリア内の関連情報や全国的な動きの把握など情報拠点としての役割と、中国地方における環境保全活動、環境教育、ESDなどに関わる人材育成機能、さまざまな組織・団体をつなぐネットワーク機能などを十分に発揮していただくよいと思います。



岡山の自然を守る会  
NPO法人岡山NPOセンター  
理事 友延 栄一

■こんな環境活動をしています  
百間川など岡山市内を中心に身近な自然の保全活動や環境教育・ESDの活動に関わっています。自らの役割は活動の触媒だと思っています。

■EPOに期待すること  
エネルギーや生物多様性など様々な意見がある中でどうするか合意を見いださなければならぬ課題が山積んでいます。環境省業務の枠を超え複雑な関係者の間で一つつ未来志向のパートナーシップを築いていく場であつて欲しいです。



NPO法人  
ひろしまレクリエーション協会  
会長 鍋島 一仁

■運営検討委員就任にあたって  
3・11の東日本大震災は、自然環境と人間活動の衝突であり改めて、自然と人間の共生について考えなくてはならなくなりました。

私は、キャンプやネーチャーレクリエーション活動を通し、自然に対する理解と人間としてサバイバルな技術を身につける指導や支援に取り組んでいる。

全て人任せの「便利」という生活環境の中で、自らつくる術を失った現代人に自然の中で不慣れや不自由な体験は、自然の厳しさや優しさを教えてくれる。

自然環境をテーマに、この分野の理解を促進するとともに、人間としての心を伝えていきたい。



鳥取県環境立県推進課  
グリーンニューディール推進室長  
室長 小林 真司

■こんな環境活動をしています  
私が所管している主な業務は地球温暖化対策です。東日本大震災を契機として、現在、節電がクロージアアップされていますが、電気だけではなく、他のエネルギーの節約にも取り組んでCO2の排出を抑えていくことも必要であると考えています。

■EPOに期待すること  
「EPOちゅうごく」には、中国各県で環境活動に取り組まれている各団体のネットワーク化や活動を支援していただき、各団体の活動が益々盛んになることを期待しています。



中国経済産業局産業部  
流通・サービス産業課  
課長 松本 正

■EPOに期待すること  
地域社会において、少子高齢化、環境問題など、多種多様な社会的課題が顕在化しております。

EPOちゅうごくが環境活動の拠点となり、地域に「つながり」と「広がり」を持ち、さまざまな課題解決に貢献されることを期待しています。

中国経済産業局では、地域社会の課題解決に向けた、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むソーシャルビジネス（SB）を応援しています。

## 災害と環境省の役割について

中国四国地方環境事務所環境対策課

企画係長 岡田享子

3月11日に発生しました東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回発生いたしました未曾有の大震災は、①大量の災害廃棄物の処理、②放射性物質に汚染されたおそれのある災害廃棄物の処理、③警戒区域でのペット（被災ペット）の保護、④放射性物質に汚染されている場所の除染等の大きな課題をもたらしています。

これらの課題に対し環境省では、様々な対策を講じ、被災地における災害廃棄物等の処理を支援することとし、被災ペットの保護のために現地へ人員を派遣、放射性物質の濃度の高い場所の除染については、政府の原子力災害対策本部に環境省を中心とした福島除染推進チームが設置され対応している



中国経済連合会  
部長 島末 健作

■こんな環境活動をしています  
私は現在、中国地域における温暖化防止対策の推進に取り組んでいます。中国では、地域の皆様の環境意識向上も重要なテーマの一つとなっています。私は、問題に対する正しい知識を持つことで、もの見方や行動が大きく変わっていくと考えています。環境問題も同様です。

■EPOに期待すること  
「EPOちゅうごく」では、今年度も様々な啓発プログラムが用意されていますので、できる限り正確で分かりやすい効果的な情報発信を行っていただくよう期待しています。



RCC中国放送  
環境担当・ISO  
事務局長 河本 良子

■こんな環境活動をしています  
2002年、RCCはISO14001に登録しました。そして「RCCエコロジーファンド」を創設し、環境に取り組む延べ214団体を、表彰、放送、助成しています。現在は「ラブ・グリーンプロジェクト」で、企業、団体、学校の環境活動を、ラジオ、テレビ、ウェブ、イベントで紹介もしています。

今年11月25、26日(金・土)県立産業会館で開催される、地域初の環境総合展「エコ・イノベーション」で、2011 in ひろしま」で事務局の一翼を担っています。

■EPOに期待すること  
「地球規模の環境」という課題に取り組むため、各地域、団体、企業、学校を繋いでいただきたいと思います。

『できることから取り組む環境活動のすすめ』



株式会社中国新聞社  
論説委員 杉本喜信

就任の打診をいただいた時、EPOの読み方を知りませんでした。告白します。ああハズカシイ。運営に「世間の風」を入れる。私の役割はこんなところか、と解釈してお引き受けしました。

関心が高い人だけが集まる「環境ムラ」化が気になります。イーピーオーと読んでしまう私のような人間に寄り添う活動もお願いします。

■EPOに期待すること  
節水、節電、節エネルギー。

ところです。

また、三陸海岸地域には陸中海岸国立公園のほか、国定公園、県立自然公園があることから、これらを一つの国立公園にすることで、災害時の避難路ともなる海岸長距離歩道の整備、今回の大震災を記録・継承する学びの場創設等を盛り込んだ、「三陸復興国立公園(仮称)」への再編成に取り組んでおります。

台風・地震の多い日本では、毎年何らかの災害が発生しております。環境省では従来から災害等廃棄物処理事業に対する補助、国立公園利用者の安全対策、環境省直轄施設の安全確認・修復等の対応をしております。

被災地の早期復興のため、環境省一丸となって取り組んでまいります。

なお、原子力行政の見直しの観点から、来年4月に環境省に「原子力安全庁」(仮称)が設置されることが8月15日に閣議決定されましたことをお伝えいたします。

## EPOちゅうごくのご紹介

中国環境パートナーシップオフィス  
(通称 EPOちゅうごく) とは、どんな場所？

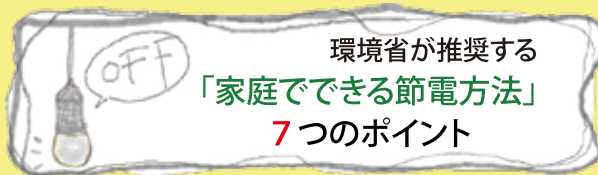
環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するためには、市民・民間団体・事業者等の様々な主体がそれぞれの担うべき役割と意義を理解し、適切な役割分担の下で相互に協力連携を図り、自主的、自発的に環境保全活動に取り組んでいくこと、いわゆる環境パートナーシップの構築が重要です。

この環境パートナーシップの構築の為に、地域の環境パートナーシップの担い手となる各主体に対する情報提供や交流の場を提供し、また活動を促進支援していくことが重要であり、そのために「EPOちゅうごく」が設置されました。

## — EPOちゅうごくの主な活動 —

- |  |  |
|--|--|
| <p>(1) 環境パートナーシップを推進するためのワークショップの開催や環境学習会を行います。</p> <p>(2) 環境パートナーシップ形成のための人材育成を図ります。</p> <p>① コーディネーター育成事業<br/>② ESD学びあいフォーラムの開催</p> <p>(3) 情報収集提供事業</p> <p>① メルマガ発行<br/>② 公開スペースを利用した環境活動展示<br/>③ HP           ④ 書籍、DVDの貸出</p> | <p>(4) 環境NPOの基盤強化事業</p> <p>① マネジメントセミナー<br/>② エコビジネス・コミュニティビジネスセミナー<br/>③ 相談助言</p> <p>(5) 啓発研修事業</p> <p>① 学習会、意見交換会、交流会</p> <p>(6) 調査研究・政策提言</p> |
|--|--|

これからの季節、暖房需要が増大する冬場に向け、私たち一人一人ができる節電方法を以下にご紹介します。



## ① こまめにスイッチオフ！

照明も電化製品も、使用しないときはこまめにスイッチを切りましょう。

## ② 待機電力を削減！

使用してなくても電力が消費されてしまう「待機時の消費電力」。長時間使用しない場合は、プラグを抜いておきましょう。

## ③ エアコンで節電！

カーテンで窓からの熱の出入りを防ぎましょう。厚手のものや床まで届く長いものがお勧めです。また、室外機の吹き出し口に物を置かないようにしましょう。

## ④ 冷蔵庫で節電！

開閉が多いと冷気が逃げてしまいます。開いている時間を短く、余分な開閉はしないようにしましょう。また、熱いものは冷ましてから入れましょう。

## ⑤ 照明で節電！

汚れると、明るさは極端に低下します。こまめに掃除しま

しょう。また、白熱電球を利用している場合は、なるべく消費電力の少ない電球型蛍光灯やLED電球に買い換えましょう。

## ⑥ テレビで節電！

リモコン待ち状態でもエネルギー（電力）を消費しているので、主電源で消しましょう。また、画面は静電気ではこりがつきやすく汚れやすいため、週に一度くらい乾いた布で掃除しましょう。

## ⑦ 他にもこんなところで節電！

温水洗浄便座のフタは閉めましょう。食事や団らんの時なども、家族みんなで一つの部屋に集まりましょう。また、早寝早起きは、夜の消費電力を抑えることになり節電につながります。早寝早起きのライフスタイル（朝チャレ！）を実践しましょう。

家庭の中で特に電気消費量が多いのは、エアコン、冷蔵庫、照明、テレビの4つとされています。これらをはじめとする家電製品を上手に使うことで、効果的に節電することができますので、皆様のご協力をお願いします。

環境省中国四国地方環境事務所

広島事務所環境対策課

筒井 恒次

詳細は <http://www.challenge25.go.jp/setsuden/home/> 参照

## スタッフ紹介

山本峰司（やまもとたかし）

前職の「広島市まちづくり市民交流プラザ」では、施設来館者対応（施設利用、受付業務）、情報提供（まちづくり・生涯学習に関するイベント・助成金募集等）、展示運営（ロビー・ギャラリー）等の業務に携わりました。業務のなかでお世話になった、志が高く行動力のある市民活動・NPO活動家に励まされた皆さんの刺激を受けました。

そして、自主的・自発的に行動し、地域や業界でつながりをつくり、まちをつくられていることに感銘しました。

私は、環境のことは初めてなのでこれから勉強しながらの活動になりますが、EPOちゅうごくがめざす「環境のパートナーシップづくり」に貢献できるよう努めていきます。誇りを持って活動されている環境NPOの皆さんが価値観や方法論の違いを超えて、多様性を認め、理解し合い、一致点を見出し、WinWinの関係を築けるよう、橋渡しをさせていただきたいです。そして、もっと市民の皆さまが環境問題に興味を持ち、気軽に身近なことからできることが増えるよう、お手伝いさせていただきたいです。

狩野美紀子（かのうみきこ）

EPOちゅうごくがオープンして7年目に入りました。開設準備当初から勤めさせて頂いていますが、他のEPOでは全く私の名前を聞いたことがないと言われ、少々がっかりもしましたが、個人的には環境サークルを立ち上げ21年目になります。

ボランティアは高校生の夏休みから始め、環境以外にも声がかかれば参加しています。

長い間には、色んな分野で活動されている方々に出会い、人のつながりで助け合っていることを感謝しています。

4月から運営団体が変わりましたが、今まで通り健康に気をつけてEPOちゅうごくが益々発展するよう頑張りたいと思います。

皆さまどうぞよろしくお願い致します。

榎木志保（えのきしほ）

私は高校生からボランティア活動を始め、大学時代に市民活動でこどもエコクラブで小学生を対象とした環境教育を実践していました。そこで、環境学習プログラムに興味を持ち研究していました。以前は、環境コンサルタント会社に勤めていました。

～仕事を通じて取り組みたいこと～

・中国地方でまずはEPOちゅうごくという存在を知ってもらうこと

・中国地方での環境ネットワークをつくること

・様々な種類の事業企画を通じて幅広い知識を得ること

～環境保全活動の醍醐味～

先日、EPOに地元の女子学生が訪ねて来られ「環境に興味があり環境保全活動をしたい。どこかお勧めの団体はないですか」と相談がありました。年齢を聞くと18歳、、、色々話を深めていくと、私が大学時代にこどもエコクラブでサポーターをしていた時当時小学生で参加していた女の子だったのです。

女子学生「榎木さんという苗字がかわっていたからずっと覚えていた」、私「大きくなったねえ…」そこからは思い出話に花が咲きました♪

人と人が世代を超えてつながっていきける…これが環境保全活動の醍醐味ではないでしょうか。皆さんの環境保全活動のお手伝いをすることで、活動する人の輪が広がり、生きがいに通じることを願っています。

### 編集後記

年に2回発行予定のEPOちゅうごく情報誌。情報誌作成にあたり、編集会議で時期などを決めていましたが、本号についてはあれよ、あれよという間に月日が経過し、あっという間に「秋」。予定より少し遅くなったの発行となりました。

先月、インターンシップ生2人の受入が終了しました。5日間でしたが、日常業務を体験してもらいつつ、NPOや環境への理解を深めました。イベント企画とチラシ作成をしてもらうなかで、実際にスペースでやってみようという話になりました。一過性で終わるのではなく、少しでもEPOに関わった人が楽しみを見つけて、続けてEPOにきてもらえるようなスペースになればと思います。どんなイベントになるか楽しみです。（編集部員 E）

## ひろしまNPOセンターのご紹介

### 「EPOちゅうごく」を運営する「ひろしまNPOセンター」とは？

「EPOちゅうごく」を運営する「ひろしまNPOセンター」は、NPOの活動基盤を強化することを目的とした支援センターです。

多様性のある、個人の自律した市民社会を実現するためには、行政・企業だけではなく市民団体・NPO・NGO、その他諸機関など多様な主体がそれぞれの特徴長所を活かし、役割を担いつつ課題解決に取り組むこと、いわゆるパートナーシップ・協働構築が重要になってきます。

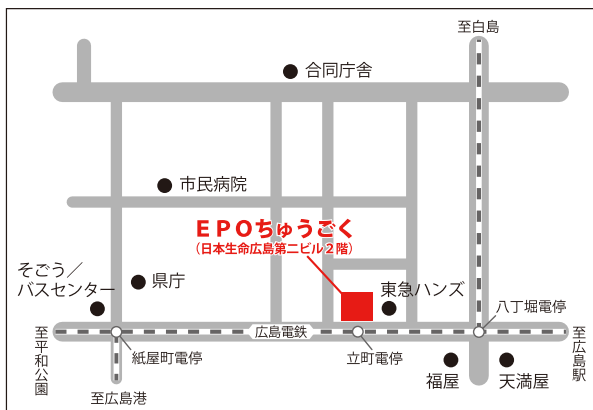
この点は、環境パートナーシップオフィスの設置理念とNPOセンターの理念とも合致しますので、本年4月より運営団体となりました。

設立は1997年9月設立（法人化1999年11月）。本年で14年になります。いままでのノウハウをいかし、EPOちゅうごくを環境団体や情報、人々の交流する場となるよう積極的に事業を展開したいと考えています。

オフィスで待っているのではなく、中国5県の各地に飛び込んで情報交換、人々との交流によるパートナーシップの構築を促進していきたいと考えています。

皆さまの参画とご協力をお願い申し上げます。

## ACCESS MAP



**開館時間** 10:00 ~ 19:00

**休館日** 月曜・日曜・祝日・年末年始

広島電鉄路面電車 立町電停より徒歩1分  
広島駅より電車で12分(宮島口・江波・広島港方面行 ※比治山下経由を除く)

バス/広島バスセンターより徒歩6分  
中国地域主要都市、東京、大阪、高松、福岡等より路線あり

〒730-0013  
広島市中区八丁堀16-11 日本生命広島第二ビル2階  
**TEL: 082-511-0720**  
FAX: 082-511-0723 E-mail: info@epo-cg.jp

<http://www.epo-cg.jp>



WEB サイトブログ更新中!

●リサイクル適性の表示: 印刷用の紙にリサイクルできます  
この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作成しています。